

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日  
東

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所  
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平井 良也 (TEL) 0463-34-2771  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,943	△0.5	1,171	△0.3	1,248	△1.7	776	2.6
26年3月期第3四半期	6,975	△2.6	1,175	△14.2	1,269	△11.9	756	△12.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 790百万円(4.5%) 26年3月期第3四半期 755百万円(△13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	59.11	—
26年3月期第3四半期	57.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	29,916	14,248	47.6
26年3月期	29,740	13,721	46.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 14,248百万円 26年3月期 13,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,799	2.5	1,836	6.0	1,946	4.9	1,192	10.7	90.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	14,667,000株	26年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,532,967株	26年3月期	1,532,967株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	13,134,033株	26年3月期3Q	13,134,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済の概況は、景気については、個人消費などに弱さがみられますが、緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、当面弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復することが期待されております。ただし、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### ① 冠婚事業

当事業では、純白のウェディングドレスにブラックライトを照らすと多彩な絵柄に発色する「ルミナスティドレス」を新商品として、各広告媒体のビジュアル面の充実を図ると共に、継続してフロントスタッフの新規対応・提案力強化の研修を実施し、一般婚礼の集客増に努めてまいりました。

また、婚礼外利用では「チャペルコンサート&ディナー」や季節限定プランなどを個人や企業、団体へ向けて広告・告知営業を強化した結果、宴会件数は前年同期に比べ増加となりました。

さらに、婚礼予約数の獲得強化をするため、コルティール茅ヶ崎のバンケットホールのフロアリニューアルを実施し、施設の魅力を高めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間において婚礼施行組数は前年同期に比べ増加、婚礼一組単価は列席者数減の影響もあり減少となり、売上高は347百万円（前年同期比9.1%減少）、営業利益は48百万円（前年同期比23.5%減少）となりました。

#### ② 葬祭事業

当事業では、第2四半期連結累計期間に開業した邸宅型の家族葬専用式場である湘和会館伊勢原（伊勢原市伊勢原）と湘和会館赤松（茅ヶ崎市赤松町）が順調に施行件数を伸ばしたほか、各施設に設けたご家族が故人にゆつたりと寄り添える専用安置室「貴殯室」により住宅事情などで増加するご安置のニーズに対応してまいりました。

商品面では、多様化するニーズにお応えするために冠婚部門のノウハウも活かし自社開発した「大型フロアスピーカー」による音楽葬への提案を開始し、参加型葬儀のオリジナル商品「花園」「追悼壇」「追悼生花祭壇」などと合わせて提案型の販売強化に取り組んでまいりました。

営業面では、継続的に施設見学会などのイベントを実施するとともに、施設を中心としたエリア毎に内容を変化させた案内紙を配布するなど、広告活動の強化に努めてまいりました。

以上の取り組みにより、当第3四半期連結会計期間における当社シェア率は前年同期に比べ上昇し、主要エリアの死亡人口増加率も上昇したことにより、葬儀施行件数は増加となり、増収増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社主要エリアの死亡人口は、第2四半期連結会計期間の大幅な減少の影響もあり、前年同期を下回りましたが、シェア率は上昇したため葬儀施行件数は増加しました。一方、葬儀一件単価は減少したため、売上高は5,814百万円（前年同期比0.1%減少）、各施設においてイベントや告知活動などを精力的に実施し、広告宣伝費などが増加したこともあり、営業利益は1,576百万円（前年同期比4.1%減少）となりました。

#### ③ 互助会事業

当事業では、売上高は185百万円（前年同期比1.7%減少）、営業利益は88百万円（前年同期比7.5%減少）となりました。

#### ④ 介護事業

当事業では、訪問看護・訪問介護サービスの利用者数が増加したほか、高齢者向け賃貸住宅の定期的な広告活動により、入居者数が順調に推移いたしました。また、グループホームが高稼働率を維持したこともあり、売上高は778百万円（前年同期比1.7%増加）、営業利益は52百万円（前年同期比41.9%増加）となりました。

その他、子会社調理部門においてグループ全社の効率改善及び新商品開発のためレトルト加工装置を導入しまし

た。また前期に実施した葬祭調理部門の一元化に加え、第2四半期連結会計期間に実施した冠婚・葬祭の調理部門の1フロア統合と、当第3四半期連結会計期間より物流システムの見直し(料理・返礼品・生花までを融合)により、全社物流効率と内製部門の作業効率が向上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,943百万円(前年同期比0.5%減少)、営業利益は1,171百万円(前年同期比0.3%減少)、経常利益は1,248百万円(前年同期比1.7%減少)、四半期純利益は776百万円(前年同期比2.6%増加)となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して175百万円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が有価証券の償還や長期預金の満期日が1年内となり振替えられたこと等により1,528百万円増加、有価証券が償還、振替等により197百万円の減少となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が取得、償還、振替等により1,281百万円減少、長期預金が振替により600百万円減少、供託金が760百万円増加しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して352百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が342百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が154百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して527百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月7日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,612,354	8,140,699
売掛金	232,268	240,441
有価証券	6,501,165	6,304,074
商品及び製品	43,328	47,506
原材料及び貯蔵品	107,822	108,542
繰延税金資産	95,020	35,745
その他	103,707	124,961
貸倒引当金	△1,635	△1,753
流動資産合計	13,694,031	15,000,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,125,713	4,107,449
機械装置及び運搬具（純額）	105,242	125,347
工具、器具及び備品（純額）	143,266	133,206
土地	6,922,526	6,963,856
その他	78,090	40,067
有形固定資産合計	11,374,839	11,369,927
無形固定資産	35,603	27,163
投資その他の資産		
投資有価証券	1,822,103	540,567
長期貸付金	30,000	30,000
長期預金	600,000	-
繰延税金資産	295,211	283,700
供託金	-	760,000
その他	1,889,011	1,904,571
投資その他の資産合計	4,636,326	3,518,839
固定資産合計	16,046,769	14,915,930
資産合計	29,740,800	29,916,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	210,063	227,296
未払法人税等	527,531	185,222
掛金解約手数料戻し損失引当金	7,041	7,421
その他	610,050	726,939
流動負債合計	1,354,687	1,146,880
固定負債		
繰延税金負債	38,465	38,849
役員退職慰労引当金	85,764	85,764
退職給付に係る負債	77,025	82,253
資産除去債務	107,599	113,266
前払式特定取引前受金	14,332,268	14,177,987
その他	23,917	22,695
固定負債合計	14,665,041	14,520,817
負債合計	16,019,728	15,667,697
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	10,749,157	11,262,841
自己株式	△670,468	△670,468
株主資本合計	13,702,599	14,216,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,472	32,166
その他の包括利益累計額合計	18,472	32,166
純資産合計	13,721,072	14,248,450
負債純資産合計	29,740,800	29,916,147



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,975,485	6,943,859
売上原価	4,837,111	4,851,983
売上総利益	2,138,374	2,091,876
販売費及び一般管理費	963,098	920,462
営業利益	1,175,276	1,171,413
営業外収益		
受取利息	21,399	16,151
受取配当金	1,982	2,243
掛金解約手数料	32,184	19,959
その他	47,396	47,965
営業外収益合計	102,963	86,319
営業外費用		
供託委託手数料	4,220	3,793
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	1,122	3,683
保険解約損	1,474	643
その他	2,082	1,520
営業外費用合計	8,899	9,641
経常利益	1,269,340	1,248,091
税金等調整前四半期純利益	1,269,340	1,248,091
法人税、住民税及び事業税	466,518	408,341
法人税等調整額	46,314	63,385
法人税等合計	512,833	471,726
少数株主損益調整前四半期純利益	756,506	776,364
四半期純利益	756,506	776,364

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	756,506	776,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△551	13,693
その他の包括利益合計	△551	13,693
四半期包括利益	755,955	790,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	755,955	790,058
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	382,066	5,820,568	4,151	765,061	6,971,849	3,636	6,975,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	184,635	-	184,635	-	184,635
計	382,066	5,820,568	188,787	765,061	7,156,484	3,636	7,160,121
セグメント利益	62,750	1,644,855	95,661	37,248	1,840,515	790	1,841,306

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,840,515
「その他」の区分の利益	790
全社費用(注)	△666,030
四半期連結損益計算書の営業利益	1,175,276

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	347,161	5,814,563	883	778,040	6,940,649	3,209	6,943,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	184,621	-	184,621	-	184,621
計	347,161	5,814,563	185,505	778,040	7,125,270	3,209	7,128,480
セグメント利益	48,025	1,576,817	88,496	52,844	1,766,184	679	1,766,863

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,766,184
「その他」の区分の利益	679
全社費用(注)	△595,449
四半期連結損益計算書の営業利益	1,171,413

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。